

プラスチック再利用制度について —新たな「プラスチック税」は誕生しうるか—

小出 賀奈恵

【研究キーワード】

#プラスチック
#リサイクル
#環境負荷
#省資源

【当該研究の状況】

プラスチック製品が急速に普及するようになった1960年代以降、その処理方法や生産量をめぐる問題が拡大してきた。プラスチック問題は、土壌および水質汚染、海洋生態系の破壊、気候変動の加速、生物多様性の減少、食物連鎖への影響など、幅広い環境問題と関連している。これらの問題を解決するために、使用の削減、代替素材の開発、環境教育の推進など、多角的なアプローチによる解決が必要とされている。

特に近年、廃プラスチックの焼却時のエネルギーを利用するサーマルリサイクルや、溶かして再び製品として再利用するマテリアルリサイクルといった従来のリサイクル手法に加え、化学物質への再利用としてのケミカルリサイクルという手法も注目されてきた。しかし、日本において、増大し続けるプラスチックの排出量と比べ、リサイクル量は伸び悩んでいる。

【先行研究への問題意識】

プラスチックのリサイクルに関する主な課題は、

- 分別の難しさ
- コスト負担
- 経済的非効率性

などが挙げられる。

プラスチックの取り扱いに関する制度を見直すことについて、まだ研究は多くない。そこで、本研究では、現在の日本のプラスチック取り扱いに関する制度を見直すことで、新たな税制度の導入を検討する。

【RQ】

なぜ日本では、消費者に対する「プラスチック税」が導入されていないのか？

【RQに対する仮説】

- 税制度導入に伴い、プラスチック製品の需要が低下するため。
- 生産者側のつくる責任のみで、消費者側のつかう責任が示されていないため。

【研究目的】

日本のプラスチック再利用制度を概観し、新しい税制度の導入の余地を探る

【研究内容・方法】

- ①プラスチックの取り扱いに関する法律の対象を調査し、生産者と消費者とで義務の課され方を比較する。
- ②現状を整理したうえで、新たな「プラスチック税」を導入する意義を検討する。

【結果(RQや仮説に一言で回答すると)】

プラスチックの取り扱いに関する法律は、
生産者と消費者とで課される義務が不均衡であった。

【結果の詳細】

<資源有効利用促進法（リサイクル法）>

プラスチック製品の製造業者に、リサイクルしやすい設計を行う義務を課している。加えて、プラスチック製品を販売する企業にも、リサイクルが容易な製品の選定や販売に努めるよう求めている。

<容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（容器包装リサイクル法）>

自治体に対して、家庭からのプラスチック容器包装を分別収集し、再商品化業者に引き渡す責任を付与している。加えて、プラスチック容器包装を使用する企業には、リサイクルのための費用負担およびリサイクル促進の義務を課している。また、消費者には、プラスチックの適切な分別を求めている。

<プラスチック資源循環促進法>

プラスチック製品を製造する企業には、リサイクル可能な素材の使用や、再利用可能な製品設計を進めることを要求している。製品を販売する企業にも、環境に配慮した商品選択や使用削減の取り組みを行うことを求めている。他方で、消費者に対しては、プラスチック製品の使用削減に協力し、適切なリサイクルに参加することを求めている。

【考察】

プラスチック製品を取り扱う企業や自治体に対して課される義務は、消費者への要求に比べて複雑で、遂行が困難なことがうかがえる。このように双方のバランスが乱れたまま、消費者に対する制度が努力義務程度にとどまると、消費者側のリサイクルに対する意識が低下の一途をたどると推察する。

新たな税制度として、プラスチック製品の消費に対する課税は、この不均衡の是正につながるだけでなく、今後のプラスチック製品の生産量削減にも寄与するのではないかと考える。

【結論・今後の展望】

複雑な問題の解決に向け、政府、企業、消費者が協力して、持続可能な社会を目指すための取り組みを強化することが求められる。プラスチックの取り扱いに関する現行制度の見直し、新たな税制度の導入は、その一役を担うのではない。

現行制度の不均衡が人々の意識や行動にどのような影響を与えているのか、注意深く観察する必要がある。また、新たにプラスチック消費へ賦課するためにも、検討を重ねることが求められる。プラスチック税導入が議論されている国々の動向や、議論の内容を踏まえる必要もあるだろう。これらを今後の課題としたい。

プラスチック再利用制度について
—新たな「プラスチック税」は誕生しうるか—

小出 賀奈恵

【参考文献】

板橋千明・野津喬（2024）「EPRからみたイギリスと日本のプラスチック資源循環政策の比較分析」『廃棄物資源循環学会論文誌』35:9-23。

織朱實（2024）「プラスチック資源循環法施行1年を振り返り、今後のプラスチック政策への示唆」『環境法政策学会誌』27:119-33。

環境省HP（2024）「プラスチック資源循環法関連」
（2024年8月25日取得、<https://www.env.go.jp/recycle/plastic/circulation.html>）

島圖良和（2023）「プラスチック循環利用の進展に向けた課題と対策—プラスチックガス化プロセスのケース」『日本LCA学会誌』19(3):135-42。